

市民と市長の意見交換会〈畑野地区〉 質疑要旨

日時:令和7年3月9日(日) 13:30～15:00 会場:畑野農村環境改善センター ホール

参加人数:20名

1. 市政について

|        |                                                                                            |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 市長より説明 | (説明内容)<br>○持続可能な島づくりについて<br>○令和7年度予算編成方針について<br>・人口減少対策<br>・人口減少社会への対応<br>※別紙、配布資料を基に説明する。 |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------|

2. 質疑や意見

| 質問者<br>(居住地区) | 意見の要旨                                                                                                                                                       | 市長の回答                                                                                                                                                                                                                               | 関係部署         |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| 畑野            | 佐渡汽船の冬季ダイヤについて島民は非常に困っている。<br>ドック入りの期間はCF一艘体制で、JFも一艘となっている。<br>早朝の便が無いと出張等で午前中に東京に行けないなど問題。<br>直江津―小木航路のこがね丸廃船、短命であったあかね丸、中古で導入した船が原因。(両津航路を)二艘体制に戻してもらいたい。 | 今回の中古船購入は仕方がない。あの時点で佐渡航路でまともに走れるのはあの船(こがね丸)だけだった、導入しないと、JFが年間を通じて二艘体制になり、欠航が増える。また、船員の確保の問題もある。<br>おけさ丸とJFの更新を考える必要があるが、今のクラスの船を造ると採算が合わないので、国に更新の支援をお願いしている。国は赤字の航路で増船の支援は絶対にしない。<br>佐渡汽船には借金を返して経営を何とか立て直してもらい、良い船を入れていかなければならない。 | 企画部          |
| 畑野            | 内藤電誠の工場が閉鎖されたが、地域の定住(促進)や交流人口拡大、地域経済の活性化、地域所得の向上等を目的とした地方創生推進交付金と、佐渡市の定住、交流人口の拡大の現在の状況をお話いただきたい。<br>また、この交付金の歳入と支出についてもお聞かせ願いたい。                            | (交付金の)金額の詳細はここではわからないが、いろいろな事業に活用している。政策を行うときは国のお金も入れ、市のお金だけではやらない。<br>令和2年に約500人の移住者があったが、今、300人くらいと一定程度残っている。働き口を確保しながらこのまま居てもらえるようにしていく。                                                                                         | 企画部<br>地域振興部 |
| 宮川            | 「どんぶり広場」という子ども食堂のような活動を畑野小学校で行っている。校長のおかげで子ども達は校舎の中で自由に活動しているが、今の校長先生が異動しても休日に学校を開放してくれるか心配。<br>学校を民間の団体にも開放してもらえるような仕組みをつくれなにか。                            | 活動は担当から聞いているが、施設管理はルールがある。今日はそうした要望があったということで教育委員会にご意見として話をしておく。                                                                                                                                                                    | 教育委員会        |
| 宮川            | 佐渡米は5、6年前に品質が特AからAに落ちて復活していないが、魚沼はすごい熱意をもって特Aに復活している。米の値段が上がったが、特Aに復活するという意欲を持って取り組んでもらいたい。                                                                 | 特Aに復活した要因はわからないが、化学肥料ではないかと思っている。特Aを取るのに化学肥料や農薬をどんどん使っているが、佐渡市は(100%化学肥料は)使わない。そうした部分が影響していると考えている。良い米を作っていくという意識はもっていくが、最終的には特Aではなくお客さんが満足してリピーターになって買ってもらうことが大事。                                                                  | 農林水産振興部      |
| 宮川            | 公民館が行政サービスセンターに移動するが、住民に対する周知が足りないので考えてもらいたい。                                                                                                               | 周知は、サービスセンターに頑張ってやってもらわなければならない。                                                                                                                                                                                                    | 畑野行政SC       |
| 宮川            | 相川金山の中の人形のキャラクターを活かした土産物を遊び心で作ってはどうか。                                                                                                                       | そうした新しい土産は出ていたと思うし、いろいろ考えているようだ。                                                                                                                                                                                                    | 観光文化スポーツ部    |
| 栗野江           | 佐渡市の財産取得について臨時議会で追認してもらった件について、財産の種類と金額、佐渡市の条例で定めている財産の種類と金額はどうか教えて欲しい。                                                                                     | 財産の件については、今細かい数字は覚えていない。2000万円以上の物品の取得が議会の議決が必要な案件だが、安い物品がたくさんある場合や、当初は2000万円を下回っていたが、結果として超えてしまった場合などでミスがあった。今はそうしたことがないようにしっかり取り組んでいる。詳細が必要であればサービスセンター長に言ってもらいたい。                                                                | 総務部          |
| 栗野江           | 老健さどについて財政上運営が厳しいため閉鎖しているが、すこやか両津と絡めて色々言われている。すこやか両津が旧老健さどに移ることの真偽についてお尋ねしたい。                                                                               | 老健さどは佐渡病院の施設なので、お答えできないが、かなり利用率も下がり、赤字になっていたので撤退したと聞いている。<br>すこやか両津は、両津病院の移転に必要な電気工事が間に合わないで、空いている老健さどの建物に移転させて市民のために機能を維持する。場所を移しても、市からすこやか両津を無くすことは考えていない。<br>高齢者人口は確実に減ってくるが、医療と福祉は佐渡全体でどう支えるかを第一に考えてやるべきと考えている。                 | 社会福祉部        |
| 栗野江           | 市長、副市長、議員の給料(報酬)について審議会に諮問して答申が出ているようだ。報酬を上げることはよいが、物価が非常に上がり、住民が困っている状況下で時期があまり良いと思わないがどうか。                                                                | そうは考えていない。他の市町村もみんな上げている。物価高で職員の給料は上がっているし、市長の給料も少し上げようという流れ。ただし、給料は持続可能な市政運営が実現できる時点までは上げない提案をしている。期末手当は他市町村と比べて非常に少ないので、少し上げさせてもらった。                                                                                              | 総務部          |
| 宮川            | 佐渡汽船を使うしか島外に出る手段がない。お金が無いのは分かっているが、市として安定的な航路の確保をしてもらいたい。                                                                                                   | 航路の確保が一番優先すること。佐渡汽船の利用者が年間120万から130万人で、船の減価償却が出来るのかという話がある。国の支援もあるが、半分は事業者が持つので、80億円の半分40億円になる。それに耐えられるように早く経営を何とかしてもらう。<br>まず貨物船を更新して、次にカーフェリー(おけさ丸)の更新。JFはまだまだ使えると言っている。国や県が運営するとサービスは低下するので、民間で頑張ってもらおうとしている。                    | 企画部          |